



課題名「Connected in Fukushima」地域と立場の壁を超え、安全性評価を軸に、共に体感し推進する国内唯一の医療機器開発拠点整備

代表機関：一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構

全研究開発期間：2023/4/1～2025/3/31

支援内容・体制：東北地域全域の企業支援担当者から成る「東北医療機器開発／事業化人材オープン・シェア革命推進タスクフォース」に、全国各地の企業支援機関や主要医療機器開発拠点（「和」ネットワーク、大阪大学バイオデザイン部門等）を加え、地域・立場の壁を越えて専門分野支援人材と事業化人材が交流し、未解決案件の事業化戦略再構築や開発企業の選定・最適化を推進する。併せて、センターが有する模擬手術室やEMC電波暗室等の安全性試験施設を最大限に活用し、開発プロセスを体感的に学ぶ専門人材の育成機能を備えた医療機器開発エコシステムの構築にも挑戦していく。

成果・実績：本事業では、事業化戦略支援、地域連携の深化、医工連携事業への申請支援を柱に、開発支援の高度化に取り組んだ。東北大学病院や和ネットワーク等との連携や、学会参加を通じた臨床ニーズの収集と試作支援を推進するとともに、プロトタイプ製作や人材育成も展開した。マッチングでは企業ニーズの類型化により支援精度を向上。さらに、米独の展示会や医療機関訪問を通じて国際展開の実践的知見を蓄積し、今後の支援施策構築に資する成果を得た。

支援イメージ

地域と立場の壁を超えた支援ネットワークの形成へ

